

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和元年11月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質(一般項目)】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和元年11月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	11月1日～30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	11月5日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

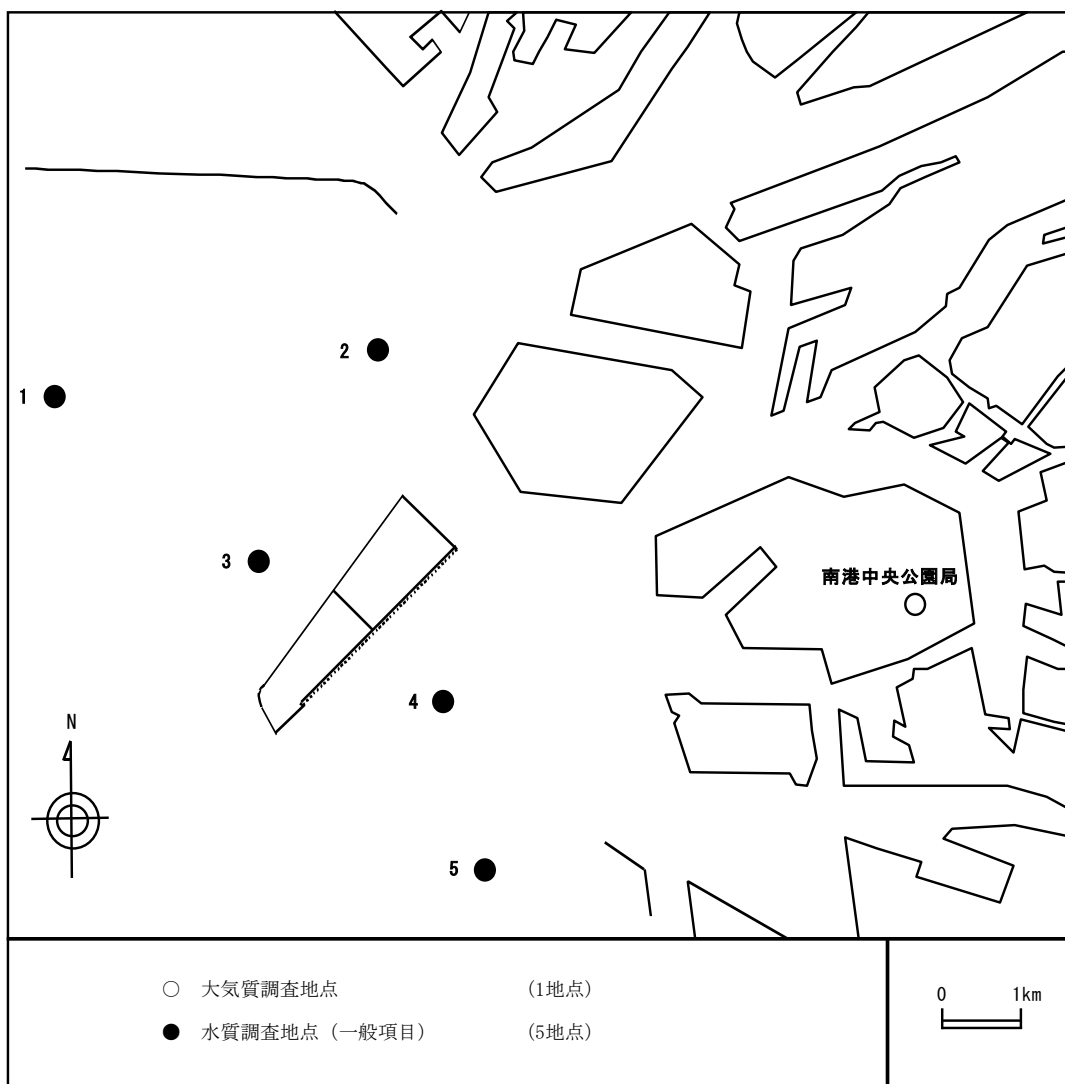
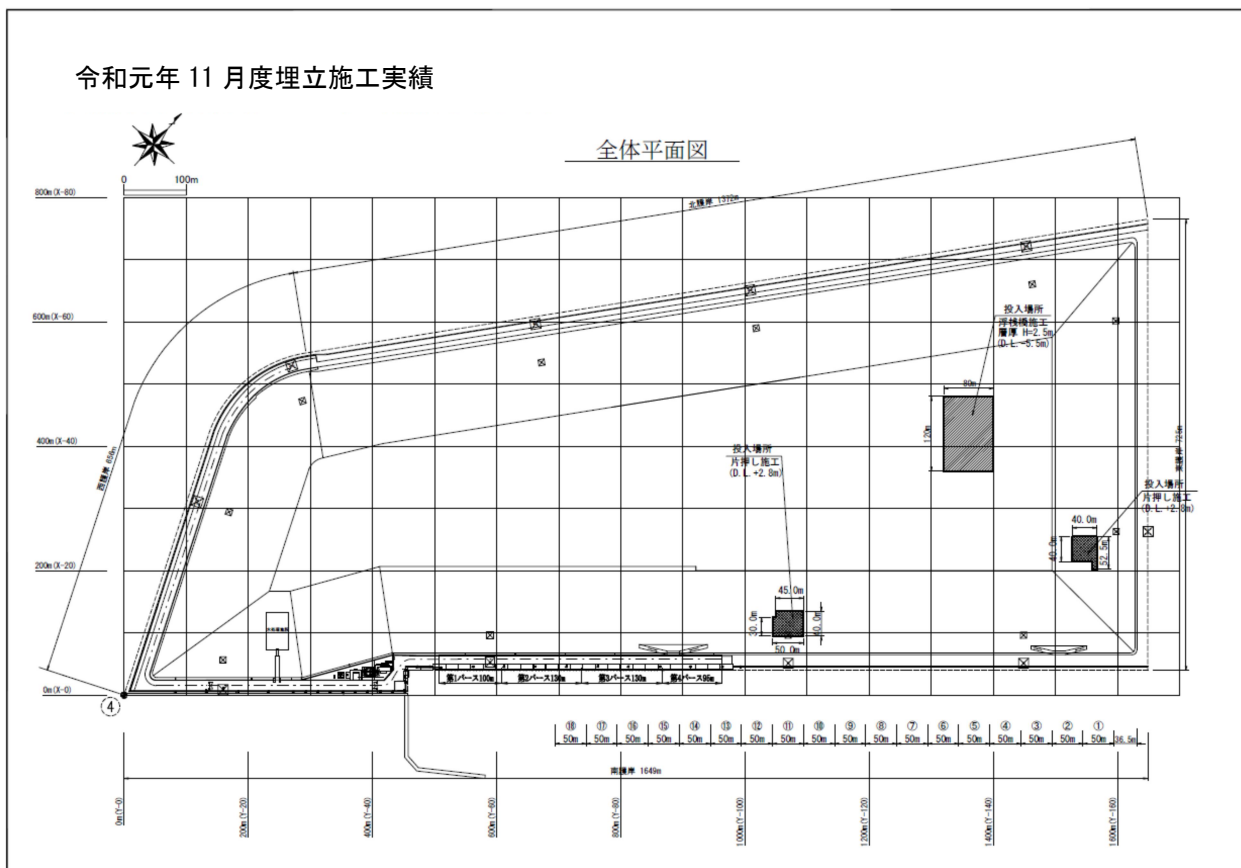


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和元年11月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
5,370,006	38.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.024ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.042ppm であった。また、日平均値の最高値は0.069ppm であり、環境基準値を超過した。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.014mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.027mg/m³、1時間値の最高値は0.050mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.3～8.6、下層で 8.0～8.2 の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (8.6)、調査地点 2 (8.4) 及び調査地点 3 (8.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.0～4.3mg/L、下層で 0.7～1.0mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.1mg/L)、調査地点 2 (3.1mg/L) 及び調査地点 3 (4.3mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.1～12mg/L、下層で 3.8～6.1mg/L の範囲であり、上層では

全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 2 (3.8mg/L)、調査地点 5 (4.7mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.27~0.40mg/L、下層で 0.18~0.27mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.051~0.085mg/L、下層で 0.048~0.072mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.060mg/L)、調査地点 2 (0.060mg/L)、調査地点 3 (0.085mg/L)、調査地点 4 (0.054mg/L)、調査地点 5 (0.051mg/L)、下層の調査地点 2 (0.072mg/L)、調査地点 3 (0.061mg/L)、調査地点 4 (0.062mg/L) 及び調査地点 5 (0.056mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~4 度(カリン)、下層で 1~3 度(カリン) の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で 2~5mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 8.2~38.8 μ g/L、下層で 1.8~4.3 μ g/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全燐（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [令和元年 11 月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	17
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	9
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	1
	測定時間数（時間）	407
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	4
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和元年 11 月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)	
日	1 (金)	0.006	0.013	
	2 (土)	0.005	0.014	
	3 (日)	0.005	0.010	
	4 (月)	0.004	0.007	
	5 (火)	0.005	0.010	
	別	6 (水)	0.005	0.009
		7 (木)	0.007	0.010
		8 (金)	0.003	0.005
		9 (土)	0.004	0.006
		10 (日)	0.004	0.007
11 (月)		0.004	0.007	
12 (火)		0.005	0.010	
13 (水)		0.005	0.011	
14 (木)		0.005	0.007	
15 (金)		0.004	0.006	
値	16 (土)	0.006	0.010	
	17 (日)	0.005	0.007	
	18 (月)	0.005	0.013	
	19 (火)	0.005	0.008	
	20 (水)	0.003	0.006	
	21 (木)	0.004	0.010	
	22 (金)	0.004	0.006	
	23 (土)	0.006	0.015	
	24 (日)	0.005	0.010	
	25 (月)	0.007	0.024	
	26 (火)	0.003	0.004	
	27 (水)	0.004	0.008	
	28 (木)	0.004	0.008	
	29 (金)	0.005	0.008	
	30 (土)	0.003	0.006	
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		717		
月平均値 (ppm)		0.005		
日平均値の最高値 (ppm)		0.007		
1時間値の最高値 (ppm)		0.024		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [令和元年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.029	0.115
	2 (土)	0.006	0.014
	3 (日)	0.006	0.019
	4 (月)	0.004	0.005
	5 (火)	0.013	0.070
	6 (水)	0.029	0.100
	7 (木)	0.031	0.127
	8 (金)	0.007	0.012
	9 (土)	0.019	0.093
	10 (日)	0.009	0.032
別	11 (月)	0.035	0.112
	12 (火)	0.013	0.063
	13 (水)	0.026	0.124
	14 (木)	0.007	0.017
	15 (金)	0.028	0.162
	16 (土)	0.039	0.152
	17 (日)	0.016	0.053
	18 (月)	—	—
	19 (火)	—	—
	20 (水)	—	—
値	21 (木)	—	—
	22 (金)	—	—
	23 (土)	—	—
	24 (日)	—	—
	25 (月)	—	—
	26 (火)	—	—
	27 (水)	—	—
	28 (木)	—	—
	29 (金)	—	—
	30 (土)	—	—
有効測定日数 (日)		17	
測定時間 (時間)		407	
月平均値 (ppm)		0.018	
日平均値の最高値 (ppm)		0.039	
1時間値の最高値 (ppm)		0.162	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和元年 11 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.041	0.067
	2 (土)	0.034	0.082
	3 (日)	0.028	0.041
	4 (月)	0.011	0.020
	5 (火)	0.037	0.066
	6 (水)	0.057	0.078
	7 (木)	0.053	0.081
	8 (金)	0.027	0.041
	9 (土)	0.040	0.073
	10 (日)	0.021	0.054
別	11 (月)	0.045	0.086
	12 (火)	0.047	0.091
	13 (水)	0.059	0.101
	14 (木)	0.029	0.057
	15 (金)	0.060	0.098
	16 (土)	0.069	0.106
	17 (日)	0.051	0.094
	18 (月)	—	—
	19 (火)	—	—
	20 (水)	—	—
値	21 (木)	—	—
	22 (金)	—	—
	23 (土)	—	—
	24 (日)	—	—
	25 (月)	—	—
	26 (火)	—	—
	27 (水)	—	—
	28 (木)	—	—
	29 (金)	—	—
	30 (土)	—	—
有 効 測 定 日 数 (日)		17	
測 定 時 間 (時間)		407	
月 平 均 値 (ppm)		0.042	
日平均値の最高値 (ppm)		0.069	
1 時間値の最高値 (ppm)		0.106	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1 時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		4	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		1	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		9	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和元年11月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (金)	0.069	58.8	0.182
	2 (土)	0.040	86.1	0.090
	3 (日)	0.034	83.7	0.055
	4 (月)	0.015	72.8	0.024
	5 (火)	0.049	74.5	0.136
	6 (水)	0.086	66.7	0.158
	7 (木)	0.084	63.3	0.188
	8 (金)	0.035	78.5	0.050
	9 (土)	0.058	68.0	0.154
	10 (日)	0.030	70.6	0.086
別	11 (月)	0.080	56.6	0.190
	12 (火)	0.060	78.8	0.154
	13 (水)	0.085	69.6	0.191
	14 (木)	0.036	80.7	0.071
	15 (金)	0.088	68.5	0.258
	16 (土)	0.108	63.6	0.230
	17 (日)	0.067	75.6	0.139
	18 (月)	—	—	—
	19 (火)	—	—	—
	20 (水)	—	—	—
値	21 (木)	—	—	—
	22 (金)	—	—	—
	23 (土)	—	—	—
	24 (日)	—	—	—
	25 (月)	—	—	—
	26 (火)	—	—	—
	27 (水)	—	—	—
	28 (木)	—	—	—
	29 (金)	—	—	—
	30 (土)	—	—	—
有効測定日数 (日)		17		
測定時間 (時間)		407		
月平均値 (ppm)		0.060		
日平均値の最高値 (ppm)		0.108		
1時間値の最高値 (ppm)		0.258		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		69.3		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和元年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (金)	0.027	0.047
	2 (土)	0.014	0.025
	3 (日)	0.020	0.026
	4 (月)	0.008	0.017
	5 (火)	0.009	0.013
	6 (水)	0.013	0.023
	7 (木)	0.020	0.032
	8 (金)	0.010	0.021
	9 (土)	0.010	0.015
	10 (日)	0.007	0.014
別	11 (月)	0.017	0.028
	12 (火)	0.013	0.020
	13 (水)	0.015	0.021
	14 (木)	0.012	0.022
	15 (金)	0.009	0.020
	16 (土)	0.021	0.029
	17 (日)	0.021	0.030
	18 (月)	0.019	0.031
	19 (火)	0.012	0.020
	20 (水)	0.007	0.010
値	21 (木)	0.008	0.015
	22 (金)	0.014	0.027
	23 (土)	0.016	0.024
	24 (日)	0.025	0.036
	25 (月)	0.021	0.050
	26 (火)	0.008	0.010
	27 (水)	0.011	0.018
	28 (木)	0.007	0.013
	29 (金)	0.007	0.015
	30 (土)	0.006	0.011
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (mg/m ³)		0.014	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.027	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.050	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和元年11月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日 別	1 (金)	0.8	1.8	N	N
	2 (土)	0.7	1.3	ESE	ESE
	3 (日)	0.5	1.0	NNE	CALM
	4 (月)	0.8	1.6	N	NW
	5 (火)	0.6	1.5	E	CALM
	6 (水)	0.6	1.5	ESE	CALM
	7 (木)	0.6	1.0	E, WSW	E
	8 (金)	1.0	1.4	NNE	N
	9 (土)	0.5	1.1	SW	CALM
	10 (日)	0.7	1.1	NNE	NNE
	11 (月)	0.9	2.1	W	NW
	12 (火)	0.8	1.6	N	N
	13 (水)	0.8	1.7	SSW	SSW
	14 (木)	1.0	1.6	N	WNW
	15 (金)	0.6	1.4	SE	E
値	16 (土)	0.6	1.7	WSW	CALM
	17 (日)	0.6	1.5	ESE	ESE
	18 (月)	1.0	2.5	SSW	CALM
	19 (火)	1.1	1.7	NW	WNW
	20 (水)	0.9	1.7	NW	NW
	21 (木)	0.7	1.4	N	N
	22 (金)	0.7	1.5	E	NNE
	23 (土)	0.4	1.3	E	CALM
	24 (日)	0.5	1.1	ESE	CALM
	25 (月)	1.0	2.6	N	N
	26 (火)	1.1	2.5	SE	NNE
	27 (水)	0.6	1.4	E	NNE
	28 (木)	1.0	2.4	N	NNE
	29 (金)	0.7	1.3	SW, WSW	NW
	30 (土)	0.7	1.2	NNE, ESE	NNE
測定時間（時間）		719			
月平均風速（m/s）		0.7			
月最大風速（m/s）		2.6			
月最多風向（16方位）		NNE			

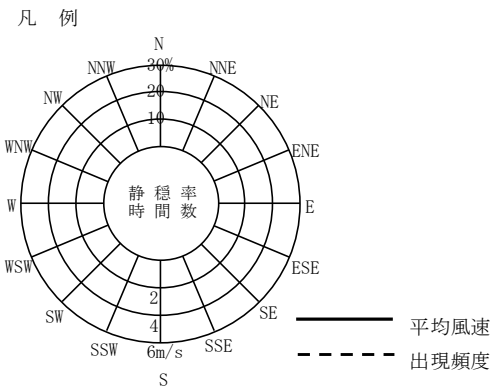
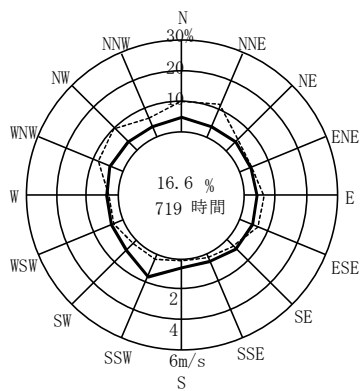
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号 (埋立地関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和元年11月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	83	38	28	45	45	19	8	6	11	14	25	23	61	74	48	72	119	719
頻度 (%)	11.5	5.3	3.9	6.3	6.3	2.6	1.1	0.8	1.5	1.9	3.5	3.2	8.5	10.3	6.7	10.0	16.6	-
平均風速 (m/s)	0.8	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.5	0.6	1.6	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和元年11月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和元年11月分]

調査日：令和元年11月5日

調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
項目										
時刻		11:26	11:44	11:11	9:05	8:52		-		-
透明度	[m]	2.2	2.7	2.3	3.1	3.8	2.2	～	3.8	2.8
水温	[°C]	19.8	20.8	20.2	19.1	20.0	19.1	～	20.8	20.0
		21.4	21.4	21.2	20.8	21.0	20.8	～	21.4	21.2
塩分	[－]	28.5	27.3	29.1	28.9	29.6	27.3	～	29.6	28.7
		31.7	32.1	31.8	31.9	31.9	31.7	～	32.1	31.9
濁度	[度(カリン)]	4	4	4	2	2	2	～	4	3
		2	2	2	1	3	1	～	3	2
浮遊物質	(SS)	4	4	4	3	2	2	～	4	3
	[mg/L]	2	3	2	2	5	2	～	5	3
水素イオン濃度	(pH)	8.6	8.4	8.4	8.3	8.3	8.3	～	8.6	-
	[－]	8.2	8.0	8.1	8.2	8.1	8.0	～	8.2	-
化学的酸素要求量	(COD)	4.1	3.1	4.3	2.8	2.0	2.0	～	4.3	3.3
	[mg/L]	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	0.7	～	1.0	0.9
溶存酸素量	濃度	12	9.4	10	7.3	7.1	7.1	～	12	9.2
	[mg/L]	6.1	3.8	5.0	6.0	4.7	3.8	～	6.1	5.1
(DO)	飽和度	156	124	131	94	93	93	～	156	120
	[%]	83	52	68	81	64	52	～	83	70
全窒素	(T-N)	0.27	0.35	0.35	0.40	0.38	0.27	～	0.40	0.35
	[mg/L]	0.18	0.27	0.21	0.22	0.23	0.18	～	0.27	0.22
全磷	(T-P)	0.060	0.060	0.085	0.054	0.051	0.051	～	0.085	0.062
	[mg/L]	0.048	0.072	0.061	0.062	0.056	0.048	～	0.072	0.060
クロロフィル a	(chl. a)	38.8	29.0	35.3	19.7	8.2	8.2	～	38.8	26.2
	[μg/L]	1.8	2.1	4.3	1.8	2.0	1.8	～	4.3	2.4

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
